

週間漁海況情報—第5号

平成26年2月3日

内容は水産研究課ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suisan/>で公開され、原則として毎週月曜日夜間に更新します。

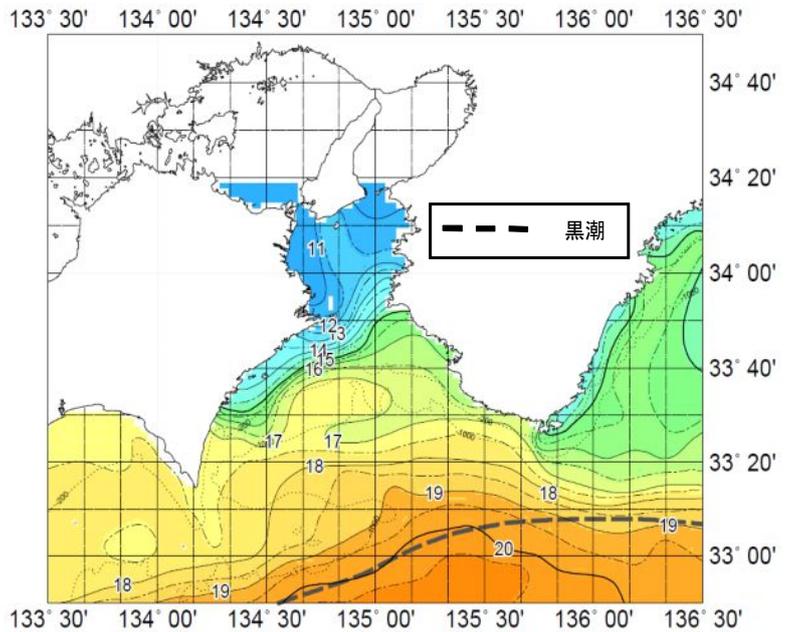
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課

1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H26.2.3）を示した。

黒潮は、室戸岬沖及び潮岬沖でやや離岸している。

黒潮本流の表面水温は、19～20℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で9～10℃台、紀伊水道で10～13℃台、海部沿岸で12～17℃台である。紀伊水道外域西側から中央部にかけて、17℃台の暖水域が見られる。海部沿岸では、15℃以下の内海系水に覆われている。



漁業調査船「とくしま」で2月3日に行った播磨灘海区の海洋観測では、全層において「やや高め」の9.9～10.3℃であった。

播磨灘海区観測結果

観測日		水温				塩分			
		表層	10m	20m	30m	表層	10m	20m	30m
2/3	今年値	10.3	10.3	10.2	9.9	32.2	32.2	32.3	32.3
	平年偏差	1.0	1.2	1.2	0.7	-0.6	-0.5	-0.5	-0.5
	前年偏差	1.4	1.4	1.4	1.3	0.0	0.0	0.1	0.1

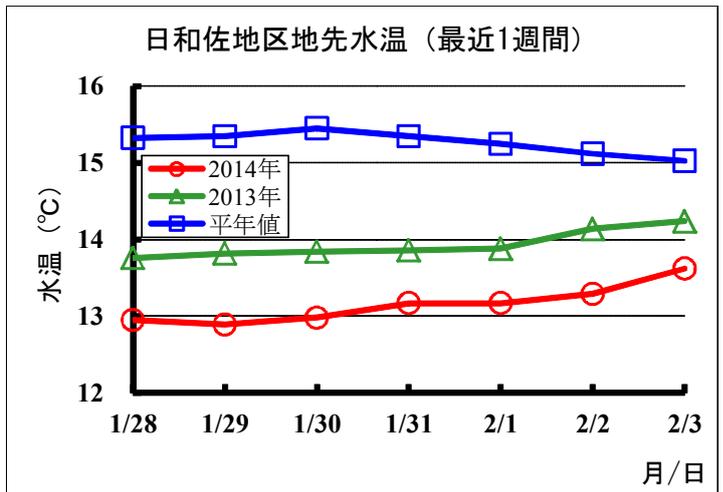
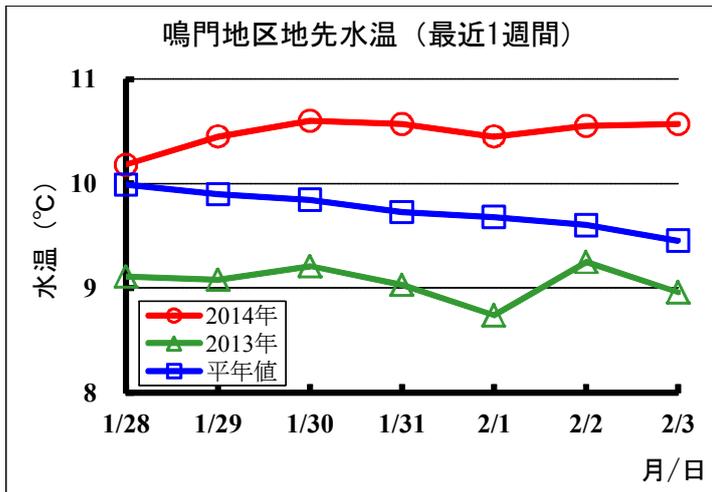
地先水温 最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「平年並」～「やや高め」の10.2～10.6℃、日和佐地区は「かなり低め」～「やや低め」の12.9～13.6℃、牟岐地区は「かなり低め」～「やや低め」の11.5～13.6℃で推移した。

* 水温偏差の目安

平年並：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上

* 平年値

鳴門地区：1981～2010年の平均値、日和佐地区：1982～2010年の平均値



2. 漁況の経過

延縄：海部沿岸で、大主体にキダイが0.4トン（1日1隻あたり15kg）、カワハギが0.3トン（同55kg）水揚げされた。

建網：海部沿岸で、中主体にヒラメが0.6トン（同4kg）水揚げされた。

小型定置網：海部沿岸で、カタクチイワシが1.0トン（同37kg）、キビナゴが0.3トン（同20kg）、中主体にメジナが0.2トン（同24kg）、小主体にイカ類が0.3トン（同5kg）水揚げされた。

大型定置網：海部沿岸で、小小主体にマアジが0.3トン（同46kg）、小小主体にマルアジが0.4トン（同64kg）、中主体にスルメイカが0.6トン（同82kg）水揚げされた。

釣り：海部沿岸で、大主体にタチウオが0.3トン（同79kg）水揚げされた。

漁業種類別集計表（抜粋） 2014年1月27日～2014年2月2日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	キダイ	26	384	15	大主体
		カワハギ	5	275	55	
建網		ヒラメ	172	645	4	中主体
小型定置網		カタクチイワシ	28	1,043	37	
		キビナゴ	13	256	20	
		メジナ	10	243	24	中主体
		イカ類	63	306	5	小主体
大型定置網		マアジ	7	322	46	小小主体
		マルアジ	7	449	64	小小主体
		スルメイカ	7	573	82	中主体
釣り		タチウオ	4	316	79	大主体

昨年同時期の主な漁獲傾向：昨年の1月28日～2月3日には、海部沿岸では、延縄で、大・中主体にアカムツが0.4トン、大主体にキダイが0.9トン、大・中主体にサバフグが0.3トン、小型定置網で、カタクチイワシが0.9トン、キビナゴが0.3トン、アオリイカが0.3トン、スルメイカが0.2トン、小主体にいか類が0.2トン、大型定置網で、マメ主体にマアジが0.6トン、小小主体にマルアジが0.4トン、ハマチが0.3トン、中主体にスルメイカが1.0トン、釣りで、大主体にゴマサバが0.2トン、特大・大主体にタチウオが0.4トン、大主体にアオリイカが0.3トン、かごで、小主体にウツボ類が0.2トン水揚げされた。

週間予報：黒潮は、室戸岬沖及び潮岬において「やや離岸」で推移する見込み。地先水温は、鳴門地先で「やや高め」～「平年並」の10℃台、日和佐地先で「低め」～「やや低め」の13℃台で推移する見込み。